

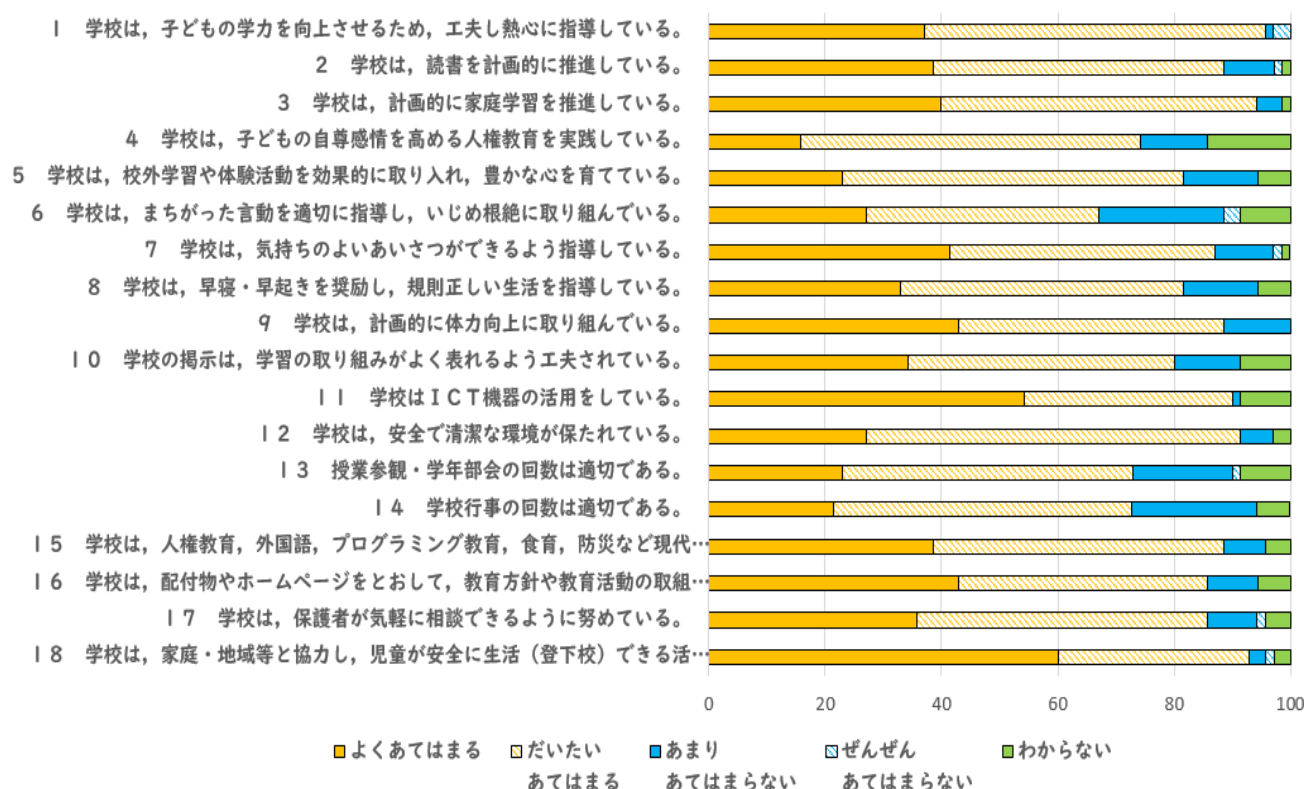
令和3年度足代小学校学校評価の結果について(報告)

足代小学校学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

今後の教育活動がよりよいものとなるよう改善を加え、子どもたちが、校訓「きよく 正しく 強く」を実践し、保護者・地域の皆さんに信頼される学校づくりに教職員一同、全力で取り組んでいきたいと思ひます。今後ともご理解・ご支援をよろしくお願ひいたします。

1 保護者アンケート結果の考察

保護者アンケート調査結果



<結果と考察・次年度に向けて>

(1) 学習について

学習についての項目では、肯定的な評価が85%を上回っており学習活動がおおむね良好な状態であると評価をいただきました。計画的な家庭学習についての評価も昨年より高くなっており、ご家庭のご協力のおかげで家庭学習が順調に行えていることが分かります。読書活動についても、児童の読書冊数も増加しており、「読み聞かせ」や「昼の読書」、「授業における読書活動」、「図書委員会による読書推進活動」などが成果につながっていると考えます。

本年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策のさらなる強化により、長期にわたりグループでの学習に制限がかかりましたが、GIGAスクール構想の実施により、一人1台PCが導入されたことで、個別の学習をさらに充実することができました。各学年の発達段階に合わせて、PCソフトの効果的な活用を進めています。次年度は、グループ学習を有効的に取り入れ、学び合いの中から思考力を深め、主体的に学習に向かう態度をさらに培っていききたいと思ひます。

(2)心の教育について

人権教育の項目については、いずれも昨年度より低い評価となっております。特に「まちがった言動を適切に指導し、いじめ根絶に取り組んでいる」については、肯定的な評価が67.1%となっており、お互いを思いやり、多様性を認め合う仲間作りにおける取組に課題があることが分かりました。また、本年度は、人権教育参観日や学年部会の中止により、人権教育において、ご家庭との連携が不十分であったことも大変申し訳なく思います。

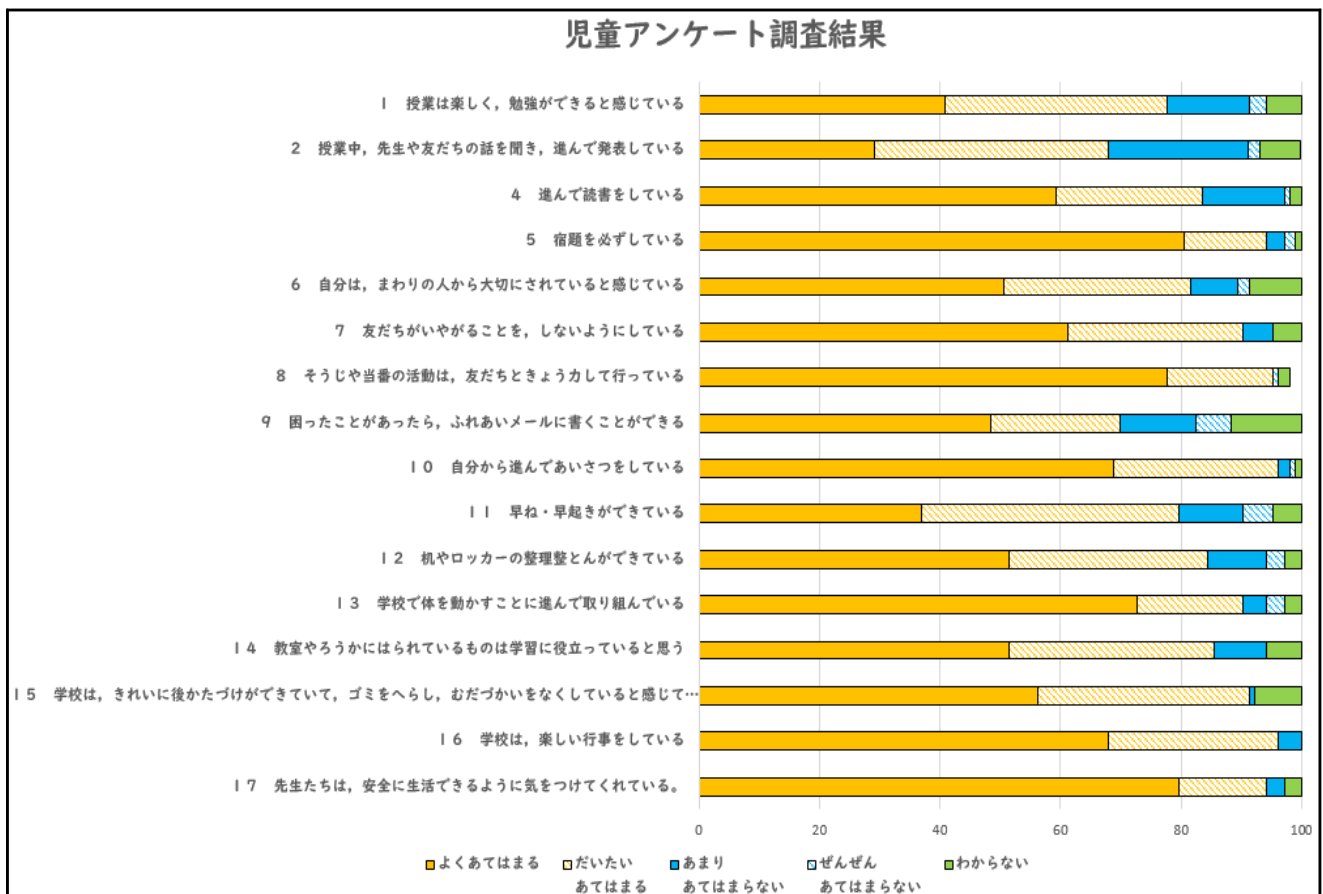
今後は、子ども一人一人と話を増やし児童理解に努めるとともに、家庭と連携して子どもを認め励まし、自尊感情を高めていきたいと思っております。また、自他の人権を尊重し、いじめや差別を許さない子どもを育てるために、人権教育を推し進めます。そして、全ての子どもが、互いを思いやり笑顔で学校生活を送れるように、取り組んで参ります。

(3)生活について

あいさつや体力向上の項目について、肯定的な評価を多くいただきました。コロナ禍で「大声を出さない」や「体育的な活動の制限」のある中で、できる限りの活動に取り組んで参りました。まだまだ不十分ではありますが、子どもたちは落ち着いて生活を送ることができていると考えられます。安全面についても高い評価をいただきました。保護者や地域の皆様のご支援のおかげだと感謝しております。

また、「早寝・早起き・規則正しい生活」については、肯定的な評価が80%を上回り、昨年度よりも高い結果となっております。近年、ゲームやスマートフォン等の使用時間の増加により、睡眠時間が減少するなど社会的課題が大きい中にもありながらも、ご家庭のご協力のもと、子どもたちの生活習慣が改善されつつあることは大変ありがたいことと感謝します。

2 児童アンケート結果の考察



<結果と考察・次年度に向けて>

(1) 学習について

学習についての項目については、ほとんどの項目で肯定的な回答が多く見られ、学習に取り組む一人一人の前向きな姿勢が見られます。しかし、「授業中、先生や友達の話をよく聞き、進んで発表している」の項目については肯定的な意見が、他の項目より低くなっております。個別学習が多くなったことが理由の一つと考えられますが、積極的に自分の意見を表現できる機会を多くとれるよう工夫していきたいと思ひます。

家庭学習については、肯定的な回答が94.2%と高くなっています。コロナ禍にあっても、保護者のご理解ご協力のおかげで、落ち着いて家庭学習に取り組めたことに感謝いたします。

本年度は、新型コロナウイルス感染防止対策上、学習活動についても制限があるなかで、ICTを活用し自分の意見をまとめ表現するなど効果的な学習活動を工夫してきました。今後は、さらに自他の意見を大切にし、思考が深められるよう指導改善を図っていきたく思ひます。

(2) 心の教育について

「友だちのいやがることをしない」「友だちと協力する」という項目については肯定的な回答が90%を上回り、友だちを大切にしようとする意識が高いことが分かります。また、「自分はまわりの人から大切にされている」についても、昨年度より肯定的な回答が増え、80%を上回りました。本年度は、自尊感情の向上を課題の一つとし、取り組んでおりますが、学校だけでなくご家庭でも、子どもたちの思いを受け止めていただけていますのおかげだと思ひます。

「困ったことをふれあいメールに書く」ことについては肯定的な回答が70%を下回っています。子ども一人一人の思いをくみとり、安心して学校生活を送れるよう相談体制を整えるところにも、ご家庭と連携し、児童理解に努めて参ります。

(3) 生活習慣について

生活についての項目は、「あいさつや早寝・早起き、整理整頓、体力向上」など、ほとんどにおいて昨年度より肯定的な回答が増加しており、全般的に落ち着いて生活が送れていると言えます。

子どもたちを取り巻く社会情勢の変化は著しく、ゲームやスマホ依存などの社会問題が深刻化してきています。自分でルールを決めて生活習慣を整えられるよう、指導・啓発を継続していきます。